



## • • • 新磯地区 • • •

新磯地区は、水田地帯が広がるなど、緑が多く、豊かな自然に恵まれている地区です。そして、なんといっても、江戸時代が伝わる「相模の大凧まつり」や、長さ約1,400メートルと日本一の長さを誇る「相模川芝ざくらライン」を生かしたまつりなどの文化・観光行事には、県内外から多くの見学者が訪れています。

### 新磯地区優秀賞



【撮影者】和泉 勝雄さん

【タイトル】最高潮

【撮影場所】相模川新戸スポ ツ広場

【コメント】撮影日：2015年5月4日

長い時間此の大勢に感動し足場の悪い草むらを大変だと思いました。

### 審査員寸評

新磯地区と言えば昔からの伝統行事の大凧ですね。凧を背景に若者が踊る姿は勇ましささえ感じます。シャッターチャンスも良く、バランスの良い配置となっています。

【撮影者】境 みのるさん

【タイトル】新磯ざる菊花見会

【撮影場所】新磯地区

【コメント】撮影時期：2014年11月3日

ざる菊花見会のおはやし練習がざる菊の中で行われていた。秋の日差しの中、心地よい響きであった。





【撮影者】榎本 茂さん  
【タイトル】レンゲの里  
【撮影場所】新戸：相武台下駅  
【コメント】4月末、毎年この時期になると咲き始めるレンゲ草。磯部・新戸地区のレンゲ畑と相模線の風景は私の幼少期の大切な宝物。

【撮影者】榎本 茂さん  
【タイトル】相模線と桜  
【撮影場所】磯部桜並木  
【コメント】4月上旬。新磯小学校前の桜並木の美しさは絶景である。その美しい桜の下を走る相模線の電車の風景は絶好の撮影場所。



【撮影者】和泉 勝雄さん  
【タイトル】色とりどり  
【撮影場所】新磯ざる菊会場  
【コメント】毎年シーズンには3回程行きます。生産者の皆さんの一年間のご苦労が感じられました。



【撮影者】佐藤 浩一さん

【タイトル】芝ざくら

【撮影場所】新磯

【コメント】平成27年4月17日撮影。  
相模川の堤防に植栽された長い散策コース  
です。毎春楽しみです、よく手入れされて  
います。



【撮影者】森 由美さん

【タイトル】新磯かかし祭り

【撮影場所】磯部の田んぼ

【コメント】9月12日撮影。

今年初めて新磯地区でかかし祭りが開催  
されました。かかし祭りがなければ、この  
ようなユニークなかかしを見ることはあ  
りません。田んぼと共に新磯の自然環境の  
良さを知ってもらえたらと思います。

【撮影者】吉富 明德さん

【タイトル】相模原新磯の秋を彩る「ざる菊」の  
メルヘンな世界

【撮影場所】新磯ざる菊園

【コメント】撮影時期：2014.11.3

毎年一回開催される「ざる菊花見会」当日は、晴  
れ渡った青い空の向こうに丹沢連邦を望み、里山  
の風情残る「ざる菊園」にはざるを伏せた丸い花  
姿をした「ざる菊」がメルヘンチックな世界を創  
り出していた。





【撮影者】舞歌さん

【タイトル】風待ち

【撮影場所】新磯地区

【コメント】大凧まつりでの一コマ。大凧をあげるためには、大きな風が必要です。綱を引っ張るのを待つ大凧文化保存会の人たちを撮影しました。

【撮影者】舞歌さん

【タイトル】祝政

【撮影場所】新磯地区

【コメント】政令市を記念しての凧揚げです。



【撮影者】菊地 和久さん

【タイトル】南区に大きな虹

【撮影場所】相模川

【コメント】長い事、虹を見た記憶がないが、南区に大きな虹が現れた。広角レンズにギリギリおさめた。



【撮影者】菊地 和久さん  
【タイトル】凧上げ準備をギジが見学  
【撮影場所】相模川  
【コメント】凧上げ準備中、キジも凧あげを楽しみにしている風に現れたのをパチリ。



【撮影者】横田 信武さん  
【タイトル】真っ盛りの曼珠沙華  
【撮影場所】峰山霊園  
【コメント】峰山霊園の横を通りかかったとき垣根越しに真っ赤な曼珠沙華が目に入り、思わず車を駐めて撮影しました。広角レンズで撮らず、望遠気味で迫力を出そうとしました。

【撮影者】蔵方 和世さん  
【タイトル】青田の夕焼け  
【撮影場所】磯部  
【コメント】日ごとに成長する青田の稲に 毎日違う色の夕焼けが映えてその美しさに見とれて撮った一枚です。稲が成長するまでの短い期間だけ見られる光景です。





【撮影者】蔵方 和世さん

【タイトル】初秋

【撮影場所】磯部

【コメント】田んぼに実りの秋が来て、散歩をしていると風に乗って稲の香りがします。稲と雲のコラボが爽やかに感じられて撮った一枚です。

【撮影者】楊井 一滋さん

【タイトル】柘植（つげ）の階段

【撮影場所】常福寺（磯部）

【コメント】撮影時期：2015年1月25日

磯部の常福寺で、毎週、日曜日の早朝に行われる「坐禅会」。そこで定点撮影しているのが、中庭の枯山水です。季節とともに移ろう枯山水の表情、周辺の木々の変化、自然光の陰影などが楽しめる私のお気に入りスポット。1月25日、坐禅の後、茶話会が始まる8時半頃、枯山水を見ると、そばの壁に瓦が階段状に映り、柘植（つげ）の影とコラボしている様が、ひと味違う枯山水の世界を醸し出していました。

